

# 地域課題

## ■ 三和町の駐車スペースの確保について

現在駐車規制されている三和町のバス道路に、駐車できるように要望し、実現の方向へ。

## ■ 東坂元町3丁目の横断歩道の確保について

児童生徒が増えている、新興住宅に、危険回避のため横断歩道の設置を要望しました。

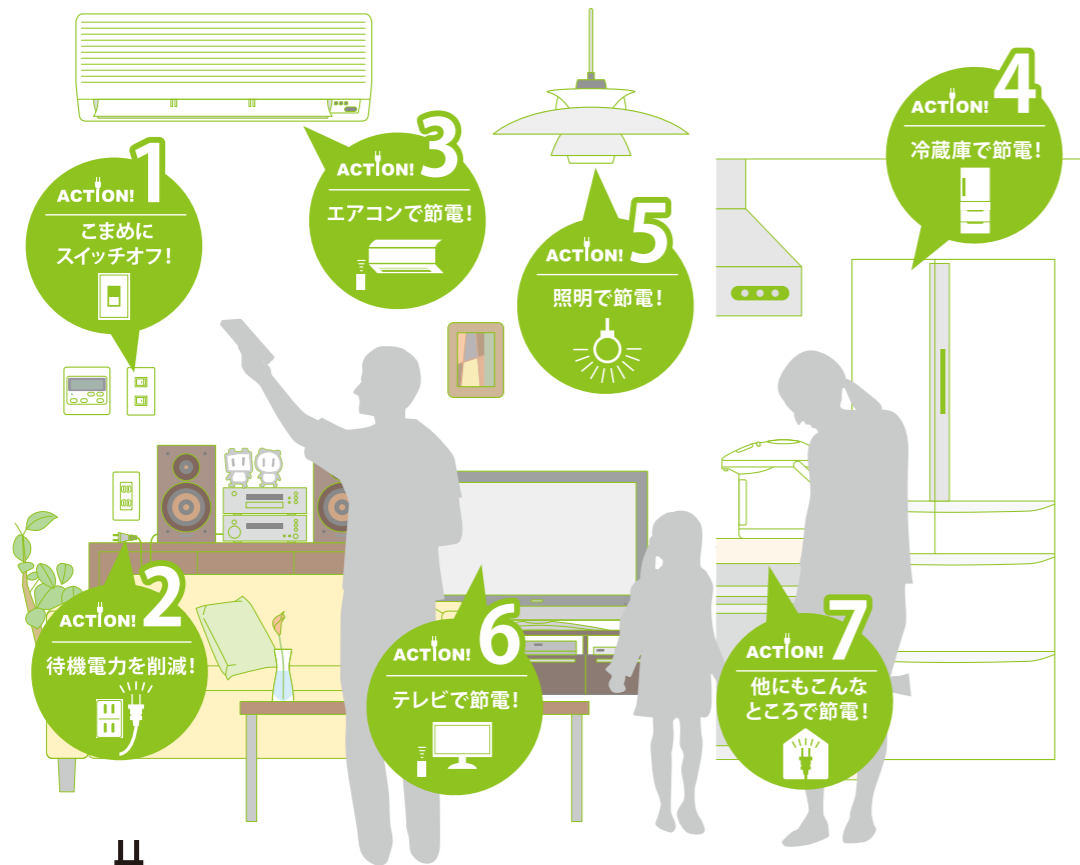
## ■ 明和土地区画整理事業について

砂防法等関係法令に沿って、行政手続きが進む中で、「まとまった緑」を残すなど環境保全と安全確保のため厳正な審査を要望しました。

## ■ 十島フェリー名瀬便の増便について

買い物や通院など島の命綱であり、観光振興等も望めることから、増便を強く要望しました。

## 家庭でひと工夫を!「節電7つのアクション!」



### ACTION!

みんなで節電アクション!

上手な節電で、安定した電力供給とCO<sub>2</sub>削減へ。

電気使用量がアップする夏に備えて、「節電7つのアクション」をはじめ、協力して少しずつ節電を心がけましょう。みなさま一人ひとりの工夫が、安定した電力供給とCO<sub>2</sub>削減につながり、今年の夏を快適に過ごすことができます。



詳しくはWEBで | <http://www.challenge25.go.jp/setsuden/>



# 松田ひろたか 第30号 通信

公明党鹿児島県議団 平成23年7月

〒890-0016 鹿児島市新照院町7番8号

何でもお気軽にご相談下さい。

TEL&FAX 099-222-1507

Eメール [h-matsuda@komei-kagoshima.jp](mailto:h-matsuda@komei-kagoshima.jp)

県議団HP <http://www.komei-kagoshima.jp>

個人HP <http://www.komei.or.jp/km/kagoshima-matsuda-hirota/>



携帯電話用個人HP

## お元気ですか？

第二回定例会が開会しました。3月11日に起きた東日本大震災により、多くの方が亡くなり、また、多くの方が、今なお不自由な避難生活を余儀なくされています。心より、お悔やみとお見舞いを申し上げます。

私も公明党は、被災直後から、国・地方議員の連携で、「政府の記者会見に手話通訳を取り入れること」、「燃料不足の解消に備蓄石油を放出すべきこと」、「タンクローリーの高速道路通行手続きを簡素化すること」、「原発冷却作業に生コン圧送機を投入すること」など現場に必要な要望をお聞きし、対応に当たって参りました。

今議会では、原子力安全対策・馬毛島問題はじめ、大震災を受けて被災者支援システムの導入や事業継続の策定など災害に強い鹿児島づくりのため提案を含めて質問致しました。

今後とも県民の目線で、懸命に働いて参ります。皆様のご健康・ご多幸を心よりお祈り申し上げます。

## 公明党県議団走る!



▲平成23年4月28日奄美豪雨災害の復興状況について調査



▲平成23年5月17日新燃岳噴火に関する現地視察



▲平成23年7月4日「クールアースデー」について青年局で街頭演説

地元の意見に反した馬毛島へのFCLP米軍基地移設に反対する意見書

地方財政の充実・強化を求める意見書

当面の電力需給対策に関する意見書

# 平成23年 第2回 県議会定例会

6月16日～7月6日  
21日間



## 川内原子力発電所再稼働について

**知事** 「運転再稼働については、安全の確保、住民の理解が大前提」

**主張** 「国の基準が不明確であり、住民も不安を持っている。運転再開がなければ、電力不足が懸念されることが強調されているが、安全の確保がすべてに優先されるべき」と主張。

## 節電対策について

### 太陽光発電

**主張** 「太陽光発電に対する県の助成打ち切りは、まさに時代に逆行、補正予算を組んでも助成制度を復活すべき」と主張。

議会政策立案検討委員会で実現する方向へ



### 公務員試験はクールビズで

**提案** 「本県採用試験の受験の際にクールビズでの採用試験・面接を可能にすべき」と提案。

**当局** 「今後、クールビズに対応した服装で受験できるよう、二次試験受験者への案内及び県のホームページを通じて周知してまいります。」



## 災害に強い鹿児島づくり

### 事業継続計画策定へ

**提案** 「本県でも事業継続計画(BCP)策定に取り組むべき」と提案。

**当局** 「国が作成した『業務継続の手引き』や既に策定した都道府県等の計画を参考にしながら、今後、策定について、検討してまいります。」

「事業継続計画策定」は、企業や行政機関が大規模な災害やテロといった緊急事態に遭遇した場合に、事業の継続、あるいは早期復旧を可能とするために、緊急時における事業継続のための方法、手段を取り決めておく計画のことです。

### 被災者支援システム導入促進

**提案** 「本県でもこのシステムを導入・運用するよう市町村に対して、周知徹底すべき」と提案。

**当局** 「2市は導入済み、32市町村が導入を検討しており、今後とも周知等に努める。」

「被災者支援システム」は、阪神・淡路大震災で破壊的な被害を受けた西宮市が開発したシステム。災害発生時に、住民基本台帳のデータをベースに被災者台帳を作成し、被災状況を入力することで、被災証明書の発行から支援金や義援金の交付、救援物資の管理、仮設住宅の入居など一元的に管理できるシステムです。

### 住宅再建共済制度

**提案** 「災害常襲県である本県も兵庫県の制度を参考に、この制度を導入すべき!!」と提案。

「住宅再建共済制度」は、阪神・淡路大震災で学んだ「助け合いの精神」を生かした共済制度。自然災害により被害を受けた住宅の再建補修を支援する共助の制度です。

### ひょうご災害緊急支援隊

**提案** 「視察した兵庫県では、災害で被災した県内の市や町を支援する「ひょうご災害緊急支援隊」を発足させ、大規模災害に備えていた。本県も防災職員等を速やかに派遣できる体制をつくるべき」と提案。

「ひょうご災害緊急支援隊」は、災害で被災した県内の市や町を県が支援する仕組み。人口規模の小さい市町ほど、防災に特化した職員が少ないという課題があり、県がリーダーシップをとって、被災市町の初動を支援する仕組みが重要であると提案しました。



▲平成23年6月6日兵庫県の復興支援課長に「住宅再建共済制度」「ひょうご災害緊急支援隊」について調査